

**1 学校教育目標**

- 思いやりのある子 よりよい生活を目指して相手を尊重し、助け合う子
- 考える子 様々な問題を解決するために多様な考えをもてる子
- たくましい子 困難に直面してもあきらめず、より高い目標に向かって努力し続ける心と体をもつ子

**2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像**

○学校像	○確かな学力を身に付けられる学校 ○豊かな心を醸成できる学校 ○確かな学び、豊かな心を支える強く健やかな心と身体が育つ学校
○児童・生徒像	○基礎的、基本的な学力を身に付けた児童 ○進んで学習や運動に取り組む積極性をもった児童 ○思いやりの気持ちを持ち、人権を尊重する児童 ○学習、生活両面で発達段階に応じた「規範意識」をもった児童 ○進んで運動に親しみ、心身を鍛える健康な児童
○教師像	○教育に対して熱意あふれる教師 ○児童に対して愛あふれる教師 ○向上心をもって職務に取り組む教師

**3 学校の現状及び前年度の成果と課題****1 学校の現状**

児童数262名 10クラス 86周年の伝統校である。

【児童】思いやりのある、素直で明るい児童が多く、学習や諸活動においてはまじめに取り組む。落ち着いた態度で学校生活を送っているが、やや積極性に欠ける面がある。運動会や展覧会等の学校行事で目標に向かって努力することで達成感を味わい、積極的に課題に取り組み、自己肯定感が高まりつつある。区学力調査の通過率は、目標の80%以上を達成した。

【教職員】学校長の経営方針を受け、教職員は意欲的で前向きに取り組んでおり、組織内の役割を確実に果たそうと努力している。また、小中連携・年次研修・校内OJT・教科指導専門員の指導などにより研修を積んでいる。着実に授業力を付けている。

【保護者、地域】親子三代卒業生の家庭も多く、地域・保護者とも学校に協力的である。地域・保護者・開かれた学校づくり協議会の方々との連携事業を増やすとともに質の向上を図っている（グリーンプロジェクト・親子ふれあい華道教室等）。学力向上や様々な取り組みに、学校の成果を評価し期待感も高まっている。

**2 前年度の成果と課題****重点的な取組事項－1 学力向上(基礎的・基本的事項の定着 思考力・判断力・表現力の向上)**

○数値目標 平成30年4月実施 区学力調査結果 通過率80%以上

○実施結果 平成30年4月結果 通過率80.1%

正答率は、国語80.3%、算数82.3%という成績であった。通過率においては、国語78.8% 算数81.4%という成績であった。

4月実施の区学力調査の通過率は、目標にしていた80%は達成することができた。ただ、年々正答率、通過率ともに値が下がってきている。特に、高学年になるにつれ伸び悩みの傾向がある。また、算数に比べ国語が下回っている。国語の力を児童につけるために、授業では音読・読解・作文等の基礎的な内容を確実に身に付けさせることを重点として取り組んでいく。また、朝学習の時間で行っている視写や読書、金曜日6校時の梅一タイムでの読解・短作文指導を検証し、より効果的な方策を学校全体で組織的に進めていく。算数では、引き続き3年生以上で習熟度別指導を行うとともに、単元テストで目標値に到達しなかった児童を対象に放課後補習を行っていく。

**重点的な取組事項－2 教師の授業力の向上(小・中連携、校内OJT、巡回指導等)**

○数値目標：管理職の授業評価 全員B以上 児童の満足度90% 学校評価90%

○実施結果：管理職の授業評価 全員B以上 児童の満足度 91.2% 学校評価 92.3%  
 7回の小中連携（十中・梅一・島根）実施。教員一人一人が自己の課題を明確にし、板書計画及びノート指導の向上に意欲的に取り組み、足立スタンダードによる授業が定着できた。ただ、所属した分科会内での指導案検討、研究授業参観なので所属以外の研究には関われないことが課題である。  
 校内OJTは、年間18回実施した。特に新学習指導要領の研修は教員相互で学び合うことができた。  
 教科指導専門員による巡回指導は、若手教員や教職経験年数の少ない教員を中心に行った。着実に足立スタンダードに基づいた授業は定着した。今後も指導を授業改善にいかしていく。

**重点的な取組事項－3 心身の健康推進（保護者・地域等との連携）**

○数値目標：児童アンケート 生活リズム調べ・体力テスト等による数値向上  
 ○実施結果：概ね良好  
 生活面のアンケートで概ね良好と回答した児童は、「挨拶」85.3%「言葉遣い」74.3%「早寝、早起き、朝ごはん」76.5%であった。数値が高くなるよう引き続き取り組んでいく。また、体育では94.5%の児童が「授業に楽しく取り組めた」と答えている。これは、学習カードの活用を通して授業改善等をする事により、児童がめあてをもって進んで運動に取り組んだ成果である。ただ、投力や跳躍力、敏捷性などに課題がある。  
 健康教育では、特に歯磨き指導等の成果として、5年連続して「東京都学校歯科保健優良校」を受賞した。

幼稚園・保育園との連携では、こだま幼稚園・島根保育園との教員同士の交流研修や児童・園児との交流（授業参観・給食参加・梅一サマーフェスタ参加・展覧会鑑賞等）、ブロック研修等を通し、教員同士の相互交流と児童（園児）理解を深めることができた。次年度もよりよい交流活動を計画・実践する。  
 保護者・地域との連携では、保護者・地域の方が学校行事等（学校公開3回 土曜公開10回 学年行事6回 運動会・展覧会等）へ参加していただくことで教育活動に対するご理解が得られた。また、開かれた学校づくり協議会や保護者の皆様の協力のもと、芝生グリーンプロジェクト、芝生の上の映画会、花いっぱい運動、親子ふれあい華道教室、親子盆踊り体験等を実施することができた。

**4 重点的な取組事項**

番号	内容	実施期間				
		29	30	31	32	33
1	学力向上(基礎的・基本的事項の定着 思考力・判断力・表現力の向上)	○	○	○		
2	教師の授業力向上（小・中連携、校内OJT、巡回指導等）	○	○	○		
3	心身の健康推進（保護者・地域等との連携）	○	○	○		

**5 平成31年度の重点目標**

<b>重点的な取組事項－1</b>	学力向上(基礎的・基本的事項の定着 思考力・判断力・表現力の向上)	
<b>A 今年度の成果目標</b>	平成31年度区学力調査目標通過率と年度末の到達目標	
学力向上（基礎的・基本的事項の定着 思考力・判断力・表現力の向上）	学力調査	80%
	年度末	82%
<b>B 前年度の取組み内容</b>		
<b>項目</b>	<b>具体的な方策</b>	
基礎的・基本的事項の定着	○児童の学力状況の把握○足立スタンダードに基づく授業○家庭学習 ○全校体制による計画的補習○梅一タイム（朝学習・金曜6校時） ○夏季学習教室○漢検（日本漢字検定）○MIM、そだち指導の活用	
思考力・判断力・表現力の向上	○知識・技能の活用を図る学習活動○教え合い、学び合い活動 ○自分の考えをもち、相手に話す活動○相手の話を受けて意見を話す活動○視写・音読○読解○短作文○新聞活用○カルタ大会等への参加 ○俳句（一茶まつり等への参加）	

読書指導の充実	○地域図書館との連携 ○図書ボランティアの活用・家庭での読書 ○読書タイムの設定(金)
---------	---

**C 前年度の成果と課題**

◎基礎的・基本的事項の定着については、教科指導専門員による巡回指導により足立スタンダードに基づく授業を徹底した。また、学力調査や単元テスト、東京ベーシックドリル等から児童の状況を把握し、学習内容の定着が十分でない児童について放課後補習教室を行った。補習教室では設定した時間に全教職員で関わることで個々の児童の課題や対応策が共有できた。家庭学習では79.8%の児童が「忘れずにできた」と回答したが、次年度は100%に一層近づけていく。

◎思考力・判断力・表現力の向上については、授業で観察・実験、レポート作成、論述などの知識・技能の活用を図る学習活動を取り入れた。また、教え合い、学び合いなどの活動を重点とした。児童アンケート「友だちの意見をよく聞いた」では、89.5%がそう思うと回答した。ただ、「自分の考えや意見を発表した」では、73.6%にとどまった。授業において、自分の考えをもつことが課題となる。

◎読書指導では、目標冊数を決め到達した児童には賞状を渡すなどして賞賛したことが読書の意欲喚起につながった。また、外部の方の本の読み聞かせは、児童の読書に対する興味・関心を高めた。ただ、児童アンケート「たくさん本を読んでいますか」では、そう思うが71%であった。読書が不十分だった3割弱の児童への働きかけが課題となる。

**D 今年度の目標実現に向けた取組み**

項目	達成基準	具体的な方策
別紙「平成31年度 学力向上アクションプラン」参照		

**重点的な取組事項－2** 教師の授業力向上（小・中連携、校内OJT、巡回指導等）

A 今年度の成果目標	達成基準
教師の授業力向上（十中・島根小との連携の推進） （校内OJT推進、巡回指導等）	小中連携・OJTによる授業力向上90% 児童アンケート 「授業が分かりやすい」90%

**B 目標実現に向けた取組み**

項目	達成基準	具体的な方策
教師の授業力向上	足立スタンダード100% 児童アンケート 「授業が分かりやすい」90%	足立区スタンダードの徹底 学習規律の徹底（梅ルール） 一人研究授業2回以上 授業観察 巡回指導 年次研修 OJT（若梅塾・管理職による指導等）
小中連携の推進	年間8回3校合同研究会 教員評価「小中連携による授業力向上」90%	年間8回の合同研究会 十中教員による勉共会3回（児童向け）
区小研等学校外の研究会参加	区小研参加100% 区内外の研究会参加2回以上	区小研参加 区内外の研究会参加 各種研修会参加

**重点的な取組事項－3** 心と体の健康推進（保護者・地域等との連携）

A 今年度の成果目標	達成基準
保護者・地域と連携し、健康で明るく生活できる児童の育成 健康教育・安全教育の推進を図り、安心・安全な学校づくり	生活習慣・体力向上の改善 いじめ・不登校 見逃しゼロ 学校事故 未然防止

B 目標実現に向けた取組み		
項目	達成基準	具体的な方策
道徳の時間の確保と質的改善 道徳教育の充実	教員評価 「道徳の授業で自分の考えをもつことができる児童が85%」が100%	道徳授業の時数確保と改善（道徳的価値について児童に考えさせる、異なる意見をもつ他者と意見交換をするなど） 道徳研修会 人権標語づくり ありがとうカード 縦割り班活動年間9回
幼稚園・保育園との連携	交流計画・ブロック協議会の100%実施	交流計画年間5回 ブロック協議会年間2回
体力向上	児童アンケート 「体育の授業に楽しく取り組めた」90% 「体力が向上した」85%	体育授業の改善（運動量の確保、運動の特性に触れる授業） 投力を高める取組（準備運動にキャッチボール、的当て板の活用） 学習カードを活用した体育授業 体育実技研修会 「はつらつタイム」「長縄」の実施
生活リズムの定着	児童アンケート 「早寝・早起き・朝ご飯」「あいさつ」「ていねいな言葉づかい」80%	家庭と連携した生活リズムの定着 生活リズムカードの活用年間3回 食育の指導 「もりもり給食ウィーク」の実施 あいさつの指導（全学年あいさつ当番）
オリンピック・パラリンピック教育 （体験的な学習）	教員評価 「オリンピック・パラリンピック教育を計画的に推進」90%	世界ともだちプロジェクト 外部講師（アスリート等）との交流 オリンピック・パラリンピックの意義等（3～6年） 華道教室（体験全学年1回以上） 国際理解（体験全学年1回以上） 書道教室（3～6年） 邦楽教室（3～6年） 親子盆踊り体験（1～2年）
安心・安全な学校生活の推進	教員評価 「いじめ・不登校の早期発見、見逃しゼロ」100%	常に児童の様子に注意する 問題には即対応する アンケートの丁寧な聞き取り SOSの出し方教室の開催 安全指導の完全実施 安全点検の完全実施
保護者・地域との連携強化	教員評価 「保護者・地域との連携」90%	地域行事への参加（祭礼・清掃活動等） 開かれた学校づくり協議会との連携事業 地域講師の活用
情報発信	教員評価 「情報発信の適切な実施」90%	ホームページの更新 学校だより・学年通信の充実 学校説明会の工夫